

## 細川 周平

## ◆著述活動

- \*2024.5 「中村善郎ソロ評」『Jazz Tokyo』N.313、5月号
- \*2024.5 「祝賀能翁付高砂プログラムの言葉」京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール5月3日、『堀場信吉記念ホールプログラム』3頁
- \*2024.5 「日本の円筒録音時代一声の再生、模倣、保存」『音盤を通してみる声の近代—日本、上海、朝鮮、台湾』劉麟玉・福岡正太編著、スタイルノート、28-47頁
- \*2024.7 「ナベサダとジャズ」とボクとラジオ』『Jazz Tokyo』N315、7月号（私のジャズ事始特集）
- \*2024.8 「学校祝歌が歌われる現場、歌う人の思いを解き明かす」『波』（656号）新潮社、8月号、92-93頁
- \*2024.9 「小沼純一『リフレクションズ』書評」『Jazz Tokyo』N. 317、9月号、2-4頁
- \*2024.10. 「第14回日中音楽比較研究音楽シンポジウムあいさつ」『第14回日中音楽比較国際会議 シンポジウム要旨集』10月26-27日開催、1頁
- \*2024 “Technological Innovations and Corporate Power in the Japanese Recording Industry, 1877-1945”, in *Phonographic Modernity. The Gramophone Industry and Music Genres in East and Southeast Asia*, Ed.by Fumitaka Yamauchi and Ying-fen Wang, University of Illinois Press, Urbana, Chicago and Springfield, pp.47-75
- \*2025.1 「清水靖晃＋国本怜 Live at Kiwa」『Jazz Tokyo』N.321、1月号（2024ベストライブ）
- \*2025.1 「マイク・モラスキー著『ピアノトリオモダンジャズへの入り口』」『Jazz Tokyo』N.321、

1月号（2024ベストブック）

- \*2025.1 「日本女性ジャズ・ピアニスト秋吉敏子—ファンとして平岡正明を読み直す」『秋吉敏子論 国際／グローバル文化交流研究の視点から』芝崎厚士編、明治大学グローバル・スタディーズ、K-4031（1.17世界政治研究会、尊厳学の確立）
- \*2025.2 「読書アンケート2024」『みすず』みすず書房、2025年2月、6-7頁

## ◆学内活動

- \*教育研究審議会
  - \*全学人事組織委員会
  - \*全学FD委員会
- \*芸術資源研究センター運営委員会
  - \*第三期中期計画検討委員会
  - \*自己点検・評価委員会

## ◆所属学会

- \*日本ポピュラー音楽学会

## 藤田 隆則

## ◆著作活動

- \*2024.07 単著エッセイ「伝承を科学する—名所の名所たるゆえん」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2024年夏季号（2024年7月1日）、p.4
- \*2024.09 単著エッセイ「伝承を科学する—夢まぼろしの現実感」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2024年秋季号（2024年9月1日）、p.4
- \*2024.12 単著エッセイ「伝承を科学する—能楽の謡は「息で謡う」」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2024年冬季号（2024年12月1日）、p.4
- \*2025.03 単著エッセイ「伝承を科学する—能の笛（能管）の喉の音と響き」『道標（仏教を身近にする伝道誌）』2025年春季号（2025年3月1日）、p.4
- \*2024.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想（36）—「松竹梅」をさかのぼる」『楽報（都

山流楽報』1167号(2024年5月号) pp.2-3

- \*2025.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想(37)―「頑張り」が生み出す伝統文化」『楽報(都山流楽報)』1171号(2025年1月号) pp.2-3
- \*2024.05 単著エッセイ「日本音楽の音階をどのように教えているか?」『東洋音楽学会西日本支部だより』101/102合併号(2024年5月25日) pp.1-4
- \*2025.02 上野正章・恵阪悟・田草川みずき・長田あかね・高橋葉子・藤田隆則(共編)『うたひ鏡』一翻刻・現代語訳・解説』日本伝統音楽研究センター研究報告15(2025年2月28日)

#### ◆口述活動

- \*2024.06.20 「能楽の「呂中干」形式をさかのぼる」伝音セミナー、京都市立芸術大学
- \*2024.07.13 学会発表「能楽の謡における裏当り(アウフタクト)の起源」(東洋音楽学会西日本支部例会、2024年7月13日(土)、京都市立芸術大学)
- \*2024.09.04 “The Origin of Ma in Noh songs.” Ma: Explained, Experienced, Expressed. Symposium held at Faculty of Arts and Social Sciences, National University of Singapore.
- \*2025.02.25 “Sound Patterns for Invocation to the Supernatural in Kagura, the Shinto Ritual and Noh Drama of Japan.” Between Praying and Playing: Exploring the Potentials of Musical Performance in Religious Traditions. Workshop in Kyoto held at the Meeting Room (AA447), 4<sup>th</sup> Floor, Research Building No. 2, Kyoto University.
- \*2025.02.26 ワークショップ「能楽の声とリズムをまねできるようになろう」シンガポール国立大学の学生に向けての実践体験ワークショップ」河村能舞台
- \*2025.03.17 「能楽の囃し手と謡い手との相互行為―「合わせる」から「乗る」へ」コミュニケーションの自然誌研究会、京都大学

#### ◆プロデュース活動

- \*2024.04.03-05.01 でんおん連続講座特別編 後期「〈翁〉付〈高砂〉の舞台・演技・演出」全5回 4月3日-5月1日
- \*2024.05.03 能楽公演「翁付高砂 風流開口」京都市立芸術大学堀場信吉記念ホール
- \*2024.10.09 伝音ライブ! 第4回「源平合戦図屏風を謡い舞う-謡曲〈敦盛〉〈忠度〉」アートスペース K.Kaneshiro
- \*2024.11.29 講演「ヤロスラウ・カプシチンスキ(Jarosław Kapuściński)氏一ワークショップ・作品鑑賞・対話」伝音セミナールーム

#### ◆調査・取材活動

- \*謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

#### ◆学内活動

- \*国際交流委員会委員
- \*附属図書館・芸術資料館運営委員
- \*全学人事組織委員会委員
- \*大学院音楽研究科兼任(日本音楽研究専攻の授業担当)

#### ◆対外活動

- \*神戸女学院大学音楽学部非常勤講師(2024.09-2025.03)
- \*文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員
- \*所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music, Society for Ethnomusicology

### 竹内 有一

#### ◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- \*2024.04-2026.03 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「常磐津節正本板元坂川屋が遺した印刷在庫の概要調査」研究代表者
- \*2022.04-2025.03 日本伝統音楽研究センター共同研究「日本音楽研究における基礎的資料の再検討と新たな活用に向けて」研究代表者

#### ◆著作

- \*2025.03.31 編著『常磐種 三 地之巻(影印)』

(常磐津節の伝承資料に関する調査報告書 2024 年度、文化庁補助事業)、常磐津節保存会、167pp

- \* 2025.03.31 研究報告「常磐津節正本板元坂川屋が遺した印刷在庫の概要調査」(公募研究成果報告)『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 NewsLetter』15、pp.9, 23
- \* 2024.05.11 演目解説「舞踊・地歌：鉄輪」「舞踊・長唄：新曲浦島」「舞踊・長唄：晒三番叟」、「出演者紹介」(7 名)、国立文楽劇場第 40 回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-8

#### ◆講演・口頭発表等

- \* 2024.07.25 講演・演奏「江戸期の流行歌を歌ってみようー常磐津への摂取例からー」(令和 6 年度前期第 2 回伝音セミナー)、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、伝音セミナールーム
- \* 2024.10.09 対談「海外での歌舞伎公演 2」(常磐津文字太夫師)、常磐津節保存会第 9 回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- \* 2024.11.13 企画構成・司会「伝音ライブ！ #05 新内志賀桜」、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、伝音セミナールーム
- \* 2025.03.05 研究報告「常磐津節正本板元坂川屋が遺した印刷在庫の概要調査 (2024 年度)」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点成果発表会 (オンライン開催)
- \* 2024.04 ~ 2025.03 演目解説、関西常磐津協会主催「笑夢の会」2024 年度公演にて随時、会場：(京都) 天性寺、誓願寺、(大阪) 島之内天野ビル、ほか

#### ◆調査・取材

- \* 文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)
- \* 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査
- \* 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
- \* 詞章本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成
- \* 柳原六斎念仏の調査

#### ◆社会貢献活動

- \* 京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導
- \* 崇仁の祭り囃子(柳原六斎念仏)伝承支援(崇仁お囃子会 月例稽古ほか)
- \* 2024.09.07 崇仁お囃子会出演サポート、下京区サマーフェスタ(京都駅)
- \* 2025.01.11 常磐津節「年増」「将門」「乗合船」「うつぼ猿」、常磐津部ミニコンサート(常磐津部展 2025)、伝音セミナールーム

#### ◆演奏(常磐津節浄瑠璃方、芸名：常磐津 若音太夫)

- \* 2024.04 ~ 09 常磐津節「子宝三番叟」「勢獅子」「小曲万才」「水売」「奴唄」「油屋 酒宴」「油屋 十人斬」「乗合船」「三社祭」「大阪めぐり」、関西常磐津協会主催「笑夢の会」2024 年度前期 9 公演、(京都) 天性寺・(大阪) 島之内天野ビルほか
- \* 2024.06 常磐津節「山姥」(歌舞伎)、六月大歌舞伎、歌舞伎座
- \* 2024.06.29 常磐津節「関の扉」、第 7 回奏会、大阪高津宮
- \* 2024.07.01 常磐津節「竹生島」、NHK-FM「邦楽のひととき」
- \* 2024.07.27 ~ 28 常磐津節「竹生島」(舞踊)、長栄座、滋賀県立文化産業交流会館
- \* 2024.09.16 ~ 18 常磐津節「乗合船」、観月会、高松市栗林公園
- \* 2024.10.09 常磐津節「蜘蛛の糸」、常磐津節保存会第 9 回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- \* 2024.10 ~ 2025.03 常磐津節「節句遊び」「角田川」「瓢箪鯰」「吉田屋」「三保の松」「雷」「どんつく」「土手場」「雷船頭」、関西常磐津協会主催「笑夢の会」2024 年度後期 9 公演、(京都) 天性寺・誓願寺ほか
- \* 2024.11 常磐津節「身替座禅」(歌舞伎)、公文協主催松竹大歌舞伎
- \* 2024.11.03 常磐津節「小夜衣」「助六廓花道」、関西常磐津協会第 83 回公演会、国立文楽劇場小ホール

- \*2025.01.15 常磐津節「宗清」「隅田川雪の八景」、NHK-FM「邦楽百番」

#### ◆教育・講義

- \*前期／後期 日本伝統音楽基礎演習 a1～4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \*前期／後期 日本伝統音楽研究 a1～4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \*前期 音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \*前期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部

#### ◆所属学協会

- \*（一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、歌舞伎学会
- \*常磐津協会、（一社）関西常磐津協会

#### ◆学外委員

- \*文化庁 文化審議会文化財分科会 第四専門調査会委員
- \*文化庁 邦楽普及拡大推進委員会委員
- \*京都市 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム審査会委員
- \*京都市 伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委員
- \*第48回全国高等学校総合文化祭 郷土芸能部門 審査員
- \*（公財）文楽協会評議員
- \*（一社）東洋音楽学会 理事（2024年8月まで）
- \*その他、氏名非公開の委員あり

#### ◆学内委員・役職

- \*京都市立芸術大学：教育研究審議会委員、ギャラリーアクア運営委員会
- \*日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、将来構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、人事組織委員会 副委員長

### 武内 恵美子

#### ◆プロジェクト研究・研究助成

- \*プロジェクト研究「音・音楽と心身の連環」研究
- \*特別研究助成「日中音楽比較国際会議」開催に関する助成

#### ◆著述

- \*Emiko Takenouchi 'Gagaku Practice at Hirosaki Domain' Edited by Fabio Rambelli" GAGAKU THE CULTURAL IMPACT OF JAPANESE CEREMONIAL MUSIC" RELIGION AND SOCIETY, Berlin/Boston, 2025, 95-122
- \*「三味線・箏・尺八～中国発祥の楽器・日本での発展～」プログラム（2024年10月、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター）

#### ◆講演

- \*第65回公開講座「三味線・箏・尺八～中国発祥の楽器・日本での発展～」2024年10月27日（日）19:00～20:30、京都市立芸術大学D棟6階ギャラリー（監修・司会進行・演奏）
- \*「平安時代の古琴の歴史と物語の文化」2024年11月14日、春秋会創立75周年記念事業 秋の部特別講演
- \*「尺八の歴史と楽譜」11月28日 上海音楽学院特別講演会1日目 於上海音楽学院
- \*「錦風流尺八と古琴—明治期の文人世界」講演と演奏 11月29日 上海音楽学院特別講演会2日目 於上海音楽学院

#### ◆管理運営

- \*日中音楽比較国際会議・シンポジウム開催実行委員長

#### ◆学内活動

- \*担当科目：原典研究Ⅰ・Ⅲ、日本伝統音楽演習BI・III、日本伝統音楽演習BII・IV、日本音楽史
- \*理事、リポジトリ運営委員会、全学FD委員会委員長、自己点検・評価委員会委員長、学術委員会委員長、国際交流委員会、情報管理委員会

#### ◆学外活動

- \*文化庁令和6年度芸術選奨推薦委員
- \*文化庁令和6年度芸術祭審査委員
- \*堀川音楽高校 非常勤（日本音楽史）

### 田鍬 智志

#### ◆講演（演奏）

- \*2024・08・24 伝音セミナー「地方に根付い

た雅楽のありようー伝承の分化と音楽スタイルの進化ー」、伝音セミナールーム。講演：上野正章・前島美保・出口実紀・松尾象空・田鍬。

- \*2024・11・01 アスニー特別講演会（古典の日 関連講演・京芸移転記念講演 2）「平安時代・鎌倉時代の雅楽をさくー古楽譜の解説ー」、京都アスニー 4 階ホール。実演：仁智要録より《新鳥蘇》。
- \*2024・11・05 第 67 回公開講座「古代出土コトから和琴へートークセッションとライブー」、伝音セミナールーム。講演：松井一晃・浅村朋伸。出演：中川佳代子・藤家溪子。司会：田鍬。楽曲提供：田鍬ほか《御遊風講式声歌聚ー鎌倉時代の推定和琴奏法と声歌譜解説による再現ー》、藤家溪子《熊野ポータラカー和琴と声のためのー》委嘱初演。

#### ◆音声（映像）展示

- \*2024・09・27～12・01 映像付きサウンド展示「源氏物語のなかで鳴り響く雅楽曲ー平安末期のスタイルで再現するー」、秋の特別展『源氏物語の世界展』、ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）。使用音源：青海波・胡蝶楽・杏越性調掻合・想夫恋・陵王・酣酔楽（2021『雅楽のイロイロを科学する本』付属 CD、2018～22 年度科研費による制作音源）。

#### ◆公演マネジメント

- \*2024・06・28 伝音ライブ！ 第 3 回×音楽学部・音楽研究科の創造のためのリサーチプレゼンテーション共創企画「ルイジ・アントニオ・イルランディーニの尺八音楽」。演奏：ルイジ・アントニオ・イルランディーニ（尺八）、瀬戸田悠貴（Cb）・池上真宝（Cb）。

#### ◆調査

科研（因幡の麒麟獅子・中世日吉小五月会関連）調査

- \*2024・04・14 日野神社例祭（岩美町）・美取神社例祭（岩美町）・浜坂神社例祭（鳥取市）・倉田八幡宮例祭（鳥取市）。
- \*2024・04・21 伏野神社大祭（鳥取市）・菖蒲神社例祭（鳥取市）。
- \*2024・04・29 上小路神社大祭（鳥取市）。
- \*2024・05・03 若桜神社大祭（若桜町）・下船岡神社大祭（八頭町）。

- \*2024・05・05 上賀茂神社賀茂競馬（京都市）。
- \*2024・05・15 上賀茂・下加茂神社葵祭走馬の儀（京都市）。

- \*2024・07・14 六所神社垂木祇園祭大祭（掛川市）。

共同研究（民間雅楽団体）調査

- \*2024・04・08 宇根雅楽会（長浜市 春日神社例祭）・丸三八シモト株式会社（長浜市）。
- \*2024・05・12 楽講（有田市 得生寺中将姫会式）。
- \*2024・07・15 下戸山永楽社（栗東市 五百井神社涼みの湯神事）。
- \*2024・09・22 下戸山永楽社（栗東市 五百井神社新穀の湯神事）。
- \*2024・11・17 花園郷土古典芸能保存会（かつらぎ町 遍照寺 花園の仏の舞）。
- \*2024・11・23 東円堂雅楽会（愛荘町 豊満神社新嘗祭）。
- \*2024・03・08 尾花沢雅楽保存会（尾花沢市 芭蕉、清風歴史資料館企画展「尾花沢のおひなさま」関連「尾花沢の雅楽演奏会」、鈴木徹氏宅）。

#### ◆伝承活動

- \*2024・08・20 弥勒寺千本燈明会（六斎念仏奉仕、御所市東佐味）

#### ◆学内活動

- \*担当科目：日本音楽史Ⅰ（音楽学部）、日本伝統音楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典（大学院音楽研究科）
- \*自己点検評価委員会、学生委員会
- \*大学院修士入試委員会、教務委員会

### 齋藤 桂

#### ◆著述活動

- \*「録音と鑑賞の間：戦前新民謡のレコードに対する態度」ボン大学日本・韓国研究専攻『日本研究の補助学としてのレコード学の確立に向けて』（予稿集）、pp.41-44。
- \*その他、時事通信に新譜紹介記事 12 件。

#### ◆講演

- \*伝音セミナー「フリー・リード楽器を知る：笙から

生まれた楽器たち」2024年9月26日、於：京都市立芸術大学。

\*京都アカデミアウィーク2024「京都でめぐるアメリカ文学」2024年10月24日、於：京都アカデミアフォーラム in 丸の内。

\*国際ワークショップ「日本研究の補助学としてのレコード学の確立に向けて」（担当：）2024年11月29日～12月1日、於：ボン大学。

\*日本伝統音楽研究センター第66回公開講座「日本と欧州のハイカルチャーと大衆音楽」2025年3月3日。

#### ◆対外活動

\*日本音楽学会西日本支部委員

\*所属学会：日本音楽学会、東洋音楽学会、European Association for Japanese Studies

#### ◆科研費

\*研究代表者：基盤研究（C）「近現代日本における「股旅もの」芸能の研究」2019-2024年度（延長）。

\*研究分担者：国際共同研究加速基金「東欧の音楽文化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」（研究代表者：伊東信宏）2019-2024年度。

\*研究分担者：基盤研究（B）「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」（研究代表者：竹内有一）2020-2024年度。